

もうまく じょうみやく へいそくしょう

網膜静脈閉塞症

———目の生活習慣病———

【網膜静脈閉塞症とは．．．】

網膜の静脈がつまって網膜に出血する病気です。上の方の網膜に出血すると下の方がみえなくなり、中心に出血が広がると視力が低下します。根元の静脈がつまった場合には「網膜中心静脈閉塞症」、枝分かれした静脈が詰まった場合には「網膜静脈分枝閉塞症」と呼びます。

【原因は？】

眼底の網膜には動脈と静脈が走っています。高血圧や糖尿病があつて、動脈が硬化すると、動脈と静脈の交叉部で静脈が圧迫されつまります。すると、いき場のなくなった血液が網膜に出血します。若い人の場合には、血管の炎症が原因のこともあります。

【治療】

★レーザー光凝固

出血部にレーザー光線をあてて、出血をひかせます。治療は約10分程度ですみ、痛みもなく煙も出ません。こわい治療法ではなく、通院でできます。

※レーザー治療をしないでほうっておくと、半年～1年位で眼球内へ再出血（硝子体出血）したり、緑内障（新生血管緑内障）、網膜剥離を起こしたりすることがあります。どれもかなり重い病気で、失明につながります。つまり、レーザー治療の目的は視力の回復ではなく、将来の失明予防ということになります。

★内服薬

飲み薬は、血管を強くする薬と網膜に栄養を与える薬です。どちらも副作用はほとんどありません。

【経過】

網膜は脳と本質的には同じものです。脳出血で、半身不随などの症状がなかなかおりにくいと同じように、この病気でも視力はなかなか回復しません。

【注意点】

高血圧、糖尿病、高脂血症を内科医にしっかりコントロールしてもらうことが大切です。また、高度のストレスや喫煙、重労働も避けた方が良いでしょう。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8